

輸送動向について(平成21年9月)

平成21年10月

1. 輸送概況

今月は、上旬に東海道線吹田信号場構内において発生した貨物列車の脱線事故による輸送障害等により、高速貨34本が運休した。

荷動きについては、在庫調整の進展などにより景気に一部底打ち感が出てきたほか、秋の大型連休前の先送り需要が盛り上がりをもせたものの、景気低迷の影響が継続し、月全体では低調に推移した。

コンテナ貨物は、食料工業品が前年を上回ったものの、自動車部品、紙・パルプなどが前年を下回り、全体では前年比89.1%となった。食料工業品は、北海道地区の砂糖の出荷が堅調に推移したほか、食品、酒類メーカーのモーダルシフトへの取組みの進展により増送となった。一方、自動車部品は、前年を下回っているものの、自動車メーカーの生産量回復に伴い回復傾向が継続した。また、紙・パルプは、生産調整の継続により大きく減送となった。

車扱貨物は、石油が前年を上回ったものの、セメント・石灰石などが前年を下回り、全体では前年比97.8%となった。石油は、昨年価格が高騰し消費が減少した反動に加え、揮発油が高速道路通行料金のETC割引により、秋の大型連休期において需要が拡大し、15ヶ月振りに前年を超えた前月に続いて増送となった。一方、セメント・石灰石は、工場の生産設備の不具合により減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,765	1,981	89.1%	9,806	11,555	84.9%
車扱	792	811	97.8%	4,677	5,038	92.8%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	218	240	-22	90.8%
	化学工業品	164	187	-23	87.7%
	化学薬品	124	138	-14	89.9%
	食料工業品	273	266	7	102.6%
	紙・パルプ	253	308	-55	82.1%
	他工業品	131	154	-23	85.1%
	積合せ貨物	185	197	-12	93.9%
	自動車部品	64	79	-15	81.0%
	家電・情報機器	36	38	-2	94.7%
	エコ関連物資	29	31	-2	93.5%
	その他	288	344	-56	83.7%
	コンテナ計	1,765	1,981	-216	89.1%
車扱	石油	489	480	9	102.0%
	セメント・石灰石	123	139	-16	88.7%
	車両	79	80	-1	99.2%
	その他	101	113	-12	90.0%
	車扱計	792	811	-19	97.8%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)